

長峯 勉 (空き家対策)

基本情報



【年 齢】
47歳
【出身地】
東京都足立区
【転出元】
東京都足立区
【前 職】
会議室運営・飲食業
【活動時期】
R7.6～

協力隊に応募したきっかけ

東京下町の古民家を改装したリノベカフェオーナーから不動産業者として価格高騰の都心部より郊外へシフト。地域の土地・建物という資源を活用して、空き家の残置物や草木の処理・伐根、整地等を行っていたところ、近隣にお住まいの方から空き家対策のご相談がたくさんありました。その際に当時の多古町空き家ご担当者様に「地域おこし協力隊に応募しませんか」とお声掛けいただいたことがきっかけで、移住を決断、協力隊の応募にいたしました。

今後の抱負・任期後の目標

エリアを広げて事業を進めてまいりましたが、今後は多古町に特化し、急務の空き家対策に尽力、必要な改修費用・維持管理など多様な問題を含めて、宅建士・ファイナンシャルプランナーといった専門的な知識と経験を生かして取り組んでいきたいと考えております。なにより多古町の皆様に「空き家が減って生活環境が良くなった」と肌で実感していただけるように、また、放置空き家の再利用や空き家バンクの活用支援など、移住者様を増やすべく、地域おこし活動を実践していきたいと考えております。

活動内容

【空き家の利活用(①: 立地を活かし滞在型コテージへ)】

長生村の海水浴場やスパ施設にほど近い立地で、空き家だった平屋を、地域の魅力を最大限に活用できる一組限定・一棟貸しの滞在型コテージに改修。別荘のような感覚で、プライベート空間を満喫してもらうことで、観光客の滞在時間を延ばし、リピート率向上、宿泊と地域経済の好循環を生み出しています。



【築200年の古民家再生】

古民家再生プロジェクトは、長年放置され、雑草と廃材に覆われていた敷地の整備から始まり、老朽化した建物の補強工事、増築部分の撤去まで、すべての作業を丁寧かつ慎重に進めました。その結果、古民家本来の美しさと安全性を取り戻し、歴史ある佇まいを美しくかつ実用性のある空間として蘇えらせる基盤を構築しました。



【荒地から美しい自然空間へ！】

いすみ市の築古の古民家を現代的なデザインにリノベーション。広々駐車スペースは土で汚れないように施工。里山の眺望が楽しめる造りはそのまま、アイランドキッチンや日焼けしにくい琉球畳で快適さを備えた住空間へ。最低限のシンプルリノベは、移住者向けの助成金制度の活用で自由にアレンジできることも魅力です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】多古町空港まちづくり課
(メールアドレス) toshikeikaku@town.tako.lg.jp
(電話番号) 0479-76-5408

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(HP) <https://toms-corporation.jp/>

